

進路だより 第4号

🌸 学校体験参加上の留意事項



(1) 学校体験中、また、その移動中の事故・ケガ等について

学校体験は、任意で参加する学校外での活動になりますので、中学校の保険が適用されません。そのため、万が一、事故やケガ等があったときには、ご家庭の責任・負担のもと対応していただくことになりますので、生徒の皆さんは、安全に十分配慮して参加してください。ご心配な場合は、各ご家庭にて任意保険等に参加していただきますよう、お願いいたします。

※ 上級学校側で参加者向けの保険に加入している場合があります。体験中に事故やケガなどがあつた場合は、必ず体験先の先生に申し出るようにしてください。



(2) 新型コロナウイルス感染症拡大等に伴う、学校体験の中止について

昨今の状況では、申し込んだ学校体験が中止になる場合も考えられます。中止案内が中学校に届いた場合は、生徒の皆さんにお知らせしますが、直前に中止となる場合も考えられます。自分が参加する学校体験については、必ず直前に体験先の学校HPを見て、開催の有無について確認した上で、参加するようにしてください。

🌸 「上級学校説明会」について

6月30日の上級学校説明会では、教室で上級学校の紹介動画を視聴します。保護者の方を対象とした会ではございませんので、ご承知おきください。各上級学校が開催する体験入学や説明会の多くは、保護者の方にもご参加いただけます。上級学校について知る機会として、ぜひご参加ください。

🌸 「第1回進路希望調査」で多かった質問への回答



Q. 将来になりたい職業がありません。どうやって進路選択をすればいいですか？

A. 中学3年生の現時点で、将来になりたい職業が決まっているという人は多くありません。今まで見聞きしたことがある職業に興味・関心がわいた人は、現時点で将来になりたい職業があるのだと思います。将来になりたい職業がある人でも、今なりたいと思っている職業は、数年後には変わっているかもしれません。将来の目標がないことが、ダメなことではありませんので前向きに考えていきましょう。将来の目標が決まっている人は、その目標を達成するために必要な学歴や資格を踏まえて選択すればよいですね。

将来の目標が決まっていない人は、これからどのような勉強を続けていきたいかを考えてみてください。大学進学を目指して、これからも国社数理英の5教科を中心に勉強していきたい場合は、普通科の学校がよいでしょう。5教科の勉強よりも工業・商業・芸術などの専門分野に興味がある場合は、専門学科の学校を選ぶとよいかもしれません。自分が興味をもって、前向きに続けられるものは何かを考えていきましょう。

Q. 自分の学力に合う学校がわかりません。



A. 1年を通して担任の先生と進路相談を繰り返し行っていきます。進路相談のなかで、皆さんの希望を踏まえて、定期テスト結果や評定をもとに、皆さんの学力に合った学校についても情報提供をしていきます。中学校では、過去の卒業生の学習成績と合格実績を参考に、皆さんの学力に合う学校などについてアドバイスをしていきます。

今、大切にしてほしいのは「行ける学校」を選ぶことではなく、「行きたい学校」に行くための努力を積み重ねていくことです。「今できること」を精一杯やっていきましょう。

また、担任の先生との進路相談で話題になったことについては、必ず保護者の方に伝えてください。人はわからないものに対して不安を感じます。進路選択の際に、わからないことがないよう、進学先の候補となる学校の体験入学や説明会には積極的に参加し、情報収集をするようにしましょう。

Q. ^{へんさち}偏差値って何ですか？ 自分の偏差値が知りたいです。



A. 偏差値とは、テストを受けた集団の中で自分がどれくらいの位置にいるかを表す数値で、平均点を偏差値 50 として、その基準からどれくらい高い(または低い)点数だったかを表しています。ネット上には、各学校の学力を偏差値で示しているものが見られます。外部の模試などを受験すると、その結果で自分の偏差値を知ることができます。中学校でも、校内の定期テストにおける偏差値をお伝えしますので、参考にしてください。ただし、これは高蔵寺中学校3年生の中での偏差値ですので、ネット上の情報など比較する際には注意しましょう。

Q. 欠席が多いと入試の結果に影響がありますか？



A. 入試の合否判定は、試験結果、調査書の内容、面接などをもとに、各学校の基準において総合的に判断されますので、欠席日数が多いという理由だけで不合格になるとは言えません。しかし、義務教育である中学校とは違い、全日制の上級学校の多くは、授業の出席日数や定期テストの結果をもとに、単位や卒業の認定を行います。そのため、中学校で欠席が多い生徒は、入学後に進級・卒業できるかどうかを心配されます。したがって、学校によっては、欠席日数が多いことが、合否結果に影響を与えることもあると考えられます。上級学校によって基準はさまざまですが、めやすとして、3年生で10日を超える欠席があると、欠席が多い印象をもたれます。

しかし、現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、感染の可能性が疑われる風邪症状での欠席等については、「欠席」ではなく「出席しなくてもよい日（出席停止）」としていますので、欠席日数が増えることはありません。体調がすぐれない場合は、登校を控えるようにしてください。

Q. ○○高校の「□□コース」と「△△コース」の違いは何ですか？



A. 上記のような、各学校の特色等については、各学校の HP や、教室にある学校案内パンフレットを見てください。まず、自分で調べる習慣をつけましょう。それでも、わからなかったことについては、先生に質問してください。